

【6月29日（月）放送朝礼のお話】

みなさん、おはようございます。

早いもので、6月も今日と明日の2日で終わり、水曜日からは7月になります。

学校が再開され、新しい生活様式を意識した学校生活にも慣れてきましたね。皆さんが、元気よく運動場で遊んだり、友達と距離を置きながらも楽しく話をしている姿を見ると、先生もとてもうれしい気持ちになります。委員会活動や係の仕事にも、しっかりと取り組んでいる姿は、立派だなあと感じています。

そんな毎日の中で、最近先生は気になることがあります。それは、友達や他の人とのトラブルの場面でのことです。

校長先生は前の朝礼でも言いましたが、学校は友達との関りを学ぶ場だと思っているので、トラブルが起こることは仕方がないと思います。

そんな場面で気になるのは、簡単に「死ね」という言葉を口にしたり、暴力で解決しようとする人がいるということです。友達との小さなトラブルの場面でもすぐに「死ね」という言葉を口にしてしまう。自分の思いどおりにならないと、つい手を出してしまう。皆さん自身はどうですか？

「死」という言葉は「命」に関係する言葉です。人は、ずっと前のご先祖様から受け継ぎ、与えられた一つの命で一生懸命に生きています。誰のものでもない、自分自身の命で。その大切な命について、「死ね」とか「生きろ」とか他人がとやかく言うということは、本当におこがましいことで間違っていると思います。世の中には、もっともっと長生きしたくても、病気などで死を迎えなければならない人がたくさんいます。逆に死にたいくらい辛くても、苦しみながらも生きていかなければならない人もいます。命の終わりは、自分で決めるものではなく、ましてや人に決められることでもなく、神様から与えられているものだとは先生は思っています。だから、簡単に「死ね」などという言葉は、絶対に使ってはいけません。

また、トラブルがあるとカッとしてつい暴力をふるってしまう子もいます。友達を殴ろうとしたその手は、人を傷つけるために付いているものではありません。優しく周りの人を包み込むために使ってください。友達を蹴飛ばそうとしたその足は、人を傷つけるためにあるものではありません。自分の足で歩いて、いろいろな場所に行って、様々なものを見るために使いましょう。暴力は人の身体や心を傷つけるだけで、トラブルを解決することは決してできないのです。

じゃあ、トラブルが起きた時どうしたらよいのでしょうか？皆さんは、人間です。人間には「言葉」という道具があります。トラブルが起きた時、きちんと言葉にして自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを確認するのです。どうにも気持ちが落ち着かないときは、手をぐっと握りしめて、大きく息を吸って、吐いてと深呼吸を10回ほどしてみましょう。これで随分心が落ち着くと思いますよ。それでも落ち着かないときは、その場を離れて一人になりましょう。人を傷つけることもないですし、少しずつ気持ちが落ち着き、トラブルの原因がちゃんと考えられるようになりますよ。そうしたら、担任の先生に自分の気持ちを伝えて、友達ときちんと話をしましょう。そして、お互いに原因が分かったら、素直に「ごめんねさい」と言って、仲直りができるようにしたいものです。

たくさんの方が生活している学校です。みんなが気持ちよく過ごせるように、一人一人が努力をしていきましょう！

長くなってしまいましたが、校長先生のお話を終わります。

一週間元気に過ごしましょう！